

第2章 地域の概況

第1節 地域の概要

佐久穂町を含む対象事業実施区域及びその周辺は、長野県の中央東部に位置している。

本地域は、東は群馬県との境をなす秩父山地、西は八ヶ岳連峰がそれぞれ南北に連なり、その両山地から伸びる尾根筋による山地が面積の大半を占めている。山地の間には谷状の平地が細長く伸びており、対象事業実施区域もそのような平坦地に位置している。秩父山地と八ヶ岳連峰の中央部には、日本最長の流路長を持つ千曲川が南から北へ流れており、両山地からの多数の河川が流れ込んでいる。千曲川は新潟県境で信濃川と名前を変え、やがて日本海まで流れ下る。本地域は多様な自然環境を有し、自然環境と生物多様性の豊かな地域である。

気候は、降水量が年間 1,000mm 以下と少ない。気温は夏と冬の差が大きく、特に冬季は厳しい冷え込みとなる。また一日の日較差も大きく、典型的な内陸性気候である。年間を通じて晴天が多く、国内でも有数の日照時間が多い地域であり、太陽光発電には適している。

対象事業実施区域の位置する佐久穂町の地勢は、東側の秩父山地が標高 1,300～1,600m 前後、西側の八ヶ岳連峰が 2,200～2,500m 前後であり、平地は 730m 程度である。

対象事業実施区域の大部分はアカマツ群落、カスミザクラコナラ群落、スギ植林からなる森林が占めている。対象事業実施区域の周辺は、平地部分は農地と集落が混在し、山地部は森林である。

主要交通は、千曲川沿いに国道 141 号が南北に伸び、佐久市と山梨県を結んでいる。現在、国道 141 号に並行して、上信越自動車道と中央自動車道を結ぶ中部横断自動車道が建設中である。

鉄道路線は、JR 小海線が通じている。

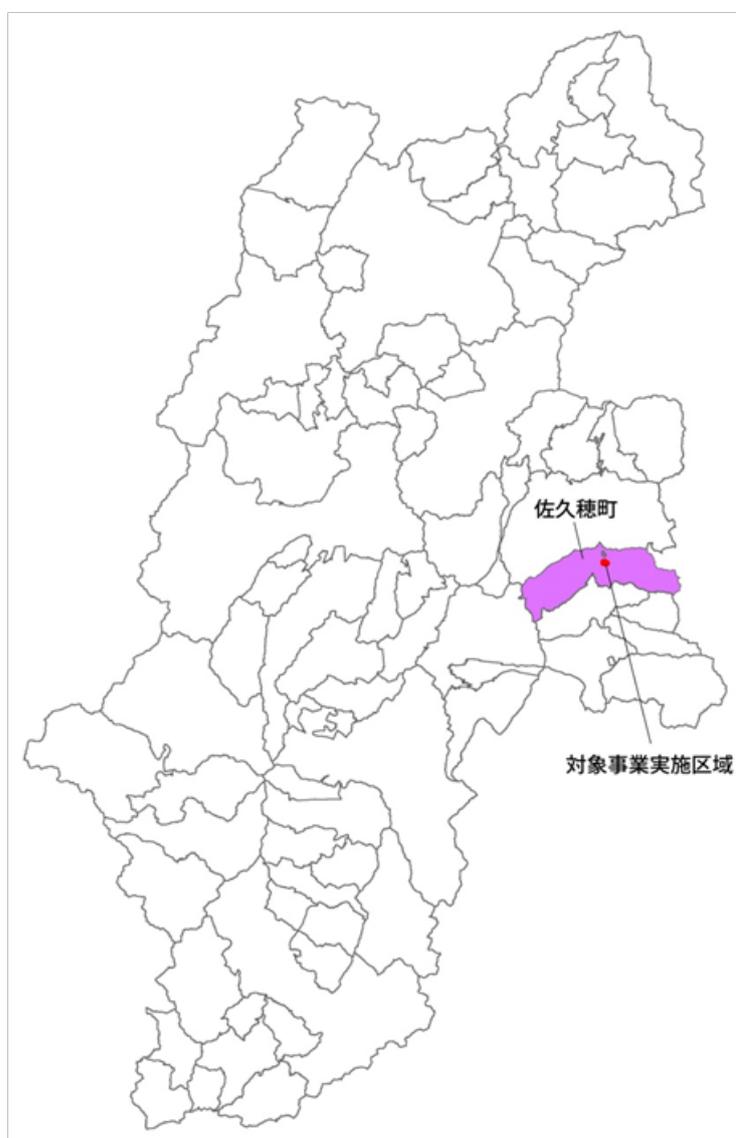


図 2-1-1 事業実施区域位置